



菱小 145歳 おめでとう!! ～ 開校記念集会を行いました ～

9月30日は、菱小学校の開校記念日でした。明治6年(1873年)、泉龍院(菱町2丁目1767の1)で読み書きそろばんを教えたことに始まり、今年で145年の歴史を誇る菱小学校。これまでに、5,999人の卒業生が巣立っていきました。30日が日曜日であることから、ちょっと早いお誕生会を開き、菱小で生活を共にするみんなで開校記念のお祝いをしました。

校長先生から、菱小創立の頃に使われた教具や文具を紹介してもらいました。手持ち黒板(ノート)、矢立(筆と墨がセットになった筆箱)、鞆(ランドセル)、「メノモンモクガ(学問のすすめ)」など、明治期の貴重な文化遺産を桐生市教育資料室からお借りして、本物を身近に見て、昔を想像しました。



▲昔のノートを紹介

「**学校で学ぶことだけが学問ではない**」

「**学問で一番大切なことは、学んだことをどう生かすことができるか**」

「**学んだこと、知ったことは、話し合いをして、みんなに広げていくことが大事**」

「学問のすすめ」から引用して大切にしてほしいこととお話ししました。学校で学ぶ、家庭や社会で学ぶ、地域連携、生涯学習、主体的・対話的に学ぶ、今の教育で大事にする柱が、140年余り前より脈々と受け継がれてきたことなので

「**温故知新(おんこちしん)**」

～故きを温ね新しきを知る～ 古いもの、歴史あるものから学び、そこから新しいことを見だし、新しい時代を築いていってほしいものです。開校記念集会にあたって、学校の歴史、伝統を引き継ぎ、新しい時代を作っていってほしいことと重ねてお話ししました。



白砂文庫開設

桐生市堤町在住の白砂一男様より、図書室に本の寄贈をいただきました。

白砂さんは、昭和13、14年度に本校の2、3年生として過ごされた大先輩です。白砂さんからの贈り物を大切に引き継いで、たくさん読書に親しんでほしいと思います。白砂様、ありがとうございます。

貸し出し初日から、児童が書架に集まり、おのおの関心のある本を手にとっていました。菱小の財産として、大切にしたいと思えます。



本の詳しいことや貸し出しについては、三河さんに聞いてくださいね。

寄贈本を手にする子ども達▶



▲書架に並ぶ寄贈本

